

## 第23回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日 時：令和3年8月31日（火）14：00～15：30

場 所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 規約の改正
4. 議 事
  - (1) 今年度の取組状況
  - (2) 金沢自転車事故対策研究会の活動報告
  - (3) 第11回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会
  - (4) 今後の予定
5. 閉 会

### 議 事 要 旨

#### ■今年度の取組状況

◎近年は整備延長が頭打ちになっているように感じるため、国県市には引き続き、自転車通行空間整備を進めていただきたい。

#### ■金沢自転車事故対策研究会の活動報告

◎自転車事故をより減らすヒントを得られるよう、研究会で引き続き自転車事故の分析をお願いしたい。

◎金沢市の自転車走行指導帯は決して広くないが、クルマのスピードダウンや、走行している自転車との距離をとるといった気遣いをすることが安全につながる。

#### 【第23回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



## 委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 特任教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 西村 昌	出席 (代理：宮企画補佐)
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 源 康晴	出席 (代理：杉本課長補佐)
	金沢中警察署 交通官 加茂野 直幸	出席
	金沢東警察署 交通官 割出 孝信	出席
	金沢西警察署 地域交通官 森 幸生	出席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 川原 克美	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 宮本 義浩	WEB 出席 (代理：田中課長補佐)
	石川県 土木部 都市計画課長 竹内 憲一	WEB 出席 (代理：川端課長補佐)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 山中 章平	WEB 出席 (随員：十二主幹兼係長)
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 中村 信治	WEB 出席 (代理：西主査)
	金沢市 土木局 道路管理課長 高木 陽一	WEB 出席 (代理：木村係長)
オブ ザー バー	白山市 建設部 土木課長 中川 浩一	欠席
	野々市市 土木部 建設課長 道下 和宏	出席 (代理：北本課長補佐)
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 本多 克則	欠席
	内灘町 都市整備部 都市建設課 上前 浩和	WEB 出席 (代理：松井主事)

※ 敬称略

## 議 事 概 要

○各委員、●事務局

### ■開会

#### ●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 戸部課長）

定刻となりましたので、ただいまより第23回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局で司会を務めます、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課の戸部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、まん延防止等重点措置期間での開催となるため、会議室とWEB会議を併用する形で開催させていただきました。金沢河川国道事務所の会場でも、委員の皆様の間隔を広くし、十分な換気をしております。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

### ■会長挨拶

#### ○公立小松大学特任教授 高山会長

本日の協議会は対面とWEBのハイブリット形式での開催で、慣れない部分があると思いますがよろしくお願ひします。石川県のまん延防止等重点措置は今月12日までとなっております。石川県の昨日の新型コロナウイルスの感染者数は30人以下で減少傾向にあります。しかし、ワクチンの2回目の接種が終了していても、コロナウイルスに感染することがあり、気を付けなければならないと思っています。現在はコロナ禍で街頭指導も難しいとのことですが、小中学校の2学期が始まって良いのか心配という話も聞きます。この状況がいつまで続くかわかりませんが、自転車にとっては追い風であり、公共交通機関利用者の自転車利用が増えたため、自転車の売り上げが好調のようです。

1年後は、マスクは外せなくても対面で協議会ができることを期待しています。本日は、今年度の取組予定、金沢自転車事故対策研究会の活動報告、金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会の開催概要について報告いただくことになるため、慎重にご審議いただきたいと思ひます。

### ■規約の改正

#### ●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 戸部課長）

規約の改正概要について説明

#### ○委員一同

了承

## ■議事

### (1) 今年度の取組予定

○金沢河川国道事務所道路管理第二課課長 川原委員

国道 159 号の自転車通行空間は来年整備予定でしたが、残念ながら水道管工事のため遅れる予定となっています。具体的には、兼六園下から大手町交差点間の水道管工事が令和 3～4 年であり、令和 5 年以降、大手町交差点から浅野川間の工事を行う予定です。コロナ禍の観光客が少ない期間に整備を進めたいです。

また、2～3 年後には、武蔵から橋場交差点間の電線共同溝整備が終了し、同じく自転車通行空間の整備を検討していきますので、今回の対象区間と合わせて面的な自転車通行空間が完成する予定です。

○地球の友・金沢 三国成子委員

森本に住んでおり、国道 359 号や神谷内交差点から山側環状までをよく利用していますが、神谷内交差点は山側環状方面を通行するクルマが増えているように感じています。近年の交通量の詳細を把握していれば教えてください。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

神谷内 IC ではコロナ禍の影響により交通量が減少していますが、現在具体的な数値は持ち合わせていません。

○公立小松大学特任教授 高山会長

次回の協議会で神谷内交差点の交通量調査の結果があれば、報告をお願いします。

P3 に自転車通行空間整備の状況が示してあり、毎年、県市が整備を進めているが、近年では整備延長が頭打ちになっているように感じます。国県市には引き続き、整備を進めていただきたいです。自転車通行空間の整備は、県民や市民、観光客の安全・安心につながると考えています。コロナ禍の影響で、予算の確保が難しいと思いますが、今後コロナウイルスも収束に向かうと思われるため、今後を見据えて通行空間の整備を進めていただきたいと思います。国道 159 号の整備については、これまで国道での整備があまり進んでいなかったため、前進したと思います。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

3 月 19 日に開催された第 5 回自転車利用環境向上会議オンラインでは、国県市と共に参加し金沢自転車ネットワーク協議会の取組について紹介しましたが、「なぜ金沢市で自転車通行空間の整備が進んでいるのか」と質問がありました。金沢市の整備が進んでいる理由は、金沢自転車ネットワーク協議会があり、協議会関係者の連携が進んでいるからだと考えています。自転車通行空間の整備延長は鈍化していますが、自転車事故の発生件数は下がって

おり、整備が進んでいる箇所での事故はほぼ無くなっています。整備が進んでいる箇所、進んでいない箇所の事故件数の差はととも大きくなっており、金沢自転車ネットワーク協議会の役割は非常に大きいと感じています。

○公立小松大学特任教授 高山会長

金沢市の大学生モビリティマネジメント事業の規模はどの程度を予定していますか。何人くらいを対象に、金沢市はどのくらい予算を確保しているのか教えてください。

○金沢市都市政策局歩ける環境推進課 西主査

大学生モビリティマネジメント事業の対象人数は、金沢市内の学生 50 名を予定しており、金沢大学生 37 名、金沢美術工芸大学生 13 名を対象としています。ICa5,000 円分、9 月から 11 月の 3 か月分のまちなりの月額会員費を無料とし、実質 1 人約 10,000 円分の交通費の助成を行い、積極的に公共交通を利用していただく事業です。さらに、もりの里イオン周辺の市営駐輪場、金沢美術工芸大学内の駐輪場にまちなりの臨時ポートを設置し、まちなかへ誘導を図ろうと考えています。

○公立小松大学特任教授 高山会長

大学生モビリティマネジメント事業は非常に良い取組だと思います。来年以降も継続して行い、利用者の増加に繋げていただきたいと思います。

## (2) 金沢自転車事故対策研究会の活動報告

○地球の友・金沢 三国成子委員

街頭指導マニュアルについて補足します。自動車運転免許を取得する際には、路上での教育がありますが、自転車は路上での教育がないため、自転車の交通ルールを知らない人が多いと感じています。街頭指導マニュアル P15 のとおり、信号のルールも 3 パターンあり、このルールを知らない人が多いと思います。また、クルマを運転しない人は、クルマが車線変更をする際にウィンカーを出す等の交通ルールを知らないため、P13 にルールを記載しました。街頭指導をする方も、自転車の交通ルールを確実に把握していないと予想されるため、自転車利用者の立場でマニュアルを作成しました。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

平成 28 年に金沢市の自転車事故が増加したため、原因調査のために研究会を立ち上げました。その効果もあり、平成 28 年からは事故は右肩下がりとなっています。まず、石川県警から事故データを提供していただけていることは全国的にも珍しく、非常に素晴らしいことだと思います。また、研究会では自転車事故を多方面から分析しており、事故対策研究会の取組を全国的に PR しても良いと思います。

千葉県八街市で発生したような交通事故が発生すると、全国で一斉に通学路点検が行われますが、金沢では自転車事故対策研究会が事前に分析・対策の検討を進めているので、先手を打った取組になっていると感じています。中学生や高校生の自転車事故発生率が減少しており、コロナ禍で自転車の利用が減少したことも影響していると思いますが、学校関係者からは高校生の自転車マナーが良くなったと聞いています。自転車通行空間整備等のハード面、街頭指導マニュアル等のソフト面の両方が進んでいるためだと考えています。金沢では自転車の左側通行の意識の定着が進んでおり、教育面の効果が出ていると感じています。

—動画の視聴—

### (3) 第11回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会

○委員一同

特に意見なし

### (4) 今後の予定

○委員一同

特に意見なし

○公立小松大学特任教授 高山会長

本日の協議会はハイブリット形式となりましたが、オンライン参加者の方の音声に乱れもあったので、次回の協議会までに改善に向けた検討をお願いします。

例年、協議会を年1～2回、勉強会を年1回の開催としていますが、自転車通行空間の整備を進めることや、街頭指導の徹底を国県市及び警察が協力し進めることが、自転車事故の減少につながると考えています。

本日は今年度の取組や、事故対策研究会の詳しい事故分析がありました。自転車事故をより減らすヒントを得られるよう、研究会で引き続き自転車事故の分析をお願いします。

○地球の友・金沢 三国成子委員

近年、金沢市の取組が全国で取り上げられていますが、全国の方から未だに自転車は車道と歩道のどちらが安全かと質問があります。金沢市の自転車走行指導帯は決して広くないですが、クルマのスピードが速いことは、重傷事故の原因の1つであるため、クルマのスピードダウンや、走行している自転車との距離をとるといった気遣いをすることが安全につながります。

○金沢東警察署交通官 割出委員

金沢東警察署では、自転車のヘルメット着用促進の取組を行っており、今年7月に管内4高校の2年生を対象にアンケートを実施しました。そのアンケートの分析結果をもとに、ポスターを作成し、4高校の教室に掲示予定です。ポスターは、アンケート結果、ヘルメット着用の必要性、ファッション性が高いヘルメットの紹介の3項目で作成しています。アンケート結果は、93%の生徒がヘルメットを着用しておらず、そのうち約7割がヘルメットの着用を「面倒だから」と回答しています。しかし、75%の生徒がヘルメットを着用した方が良いと回答しており、ヘルメット着用の必要性を認めています。アンケート結果をもとに、引き続き自転車の交通安全活動を行います。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

街頭指導マニュアルを作成する際に知ったのですが、金沢西高校の生徒が安全交通に関するPR動画をスマートフォンで作成し、校内で放映する取組をしていました。

金沢東警察署の取組紹介についても、アンケート結果をまとめていただき、協議会や勉強会で紹介していただけると良いと思います。

○公立小松大学特任教授 高山会長

高齢者は、自転車が左右どちら側を走れば良いかわからない方も多いと思います。また、自転車の右側走行を当たり前だと思っている方もいます。右側走行であれば、前方からクルマが来るとわかるため、安心して自転車で走行できるそうです。このような考え方を持っている方が多いことに驚きます。

■閉会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 戸部課長）

高山会長、委員の皆様、活発なご議論をいただき、ありがとうございました。次回の協議会は、来年の2月頃を想定しております。以上をもちまして、第23回金沢自転車ネットワーク協議会を終了いたします。ありがとうございました。

—以上—